

長土地区
今月の気になる人

三和支所管内より

父から受け継いだ農業

野村 光広さん (35)



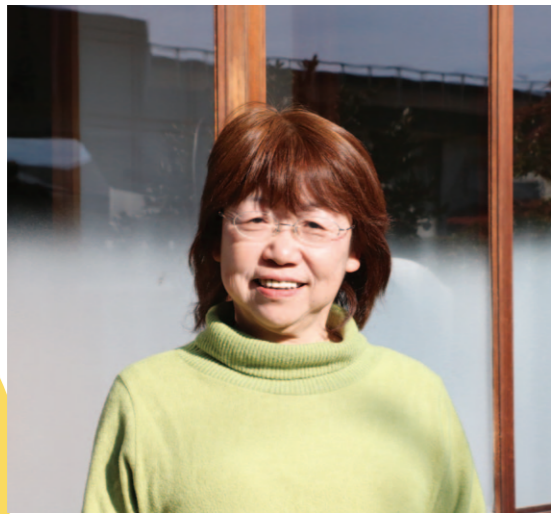
10年前、父が他界したのをきっかけに就農した光広さん。それまで会社勤めだったため、全く農業に関する知識はありませんでしたが、亡父が書き残してくれていた日記や、祖父と地域の方達に教えてもらいながら、栽培に取り組んできました。

現在ではピーマン18アール、ショウガ28アールを施設栽培しています。環境制御技術など新しい技術も積極的に取り入れてきました。「今後は規模的には現状維持のまま、品質・反収の向上を目指していく」と展望を話してくれました。

日章支所管内より

女性部活動を通じて

吉井 美香さん (62)



女性部南国市地区日章支部長を務めている美香さん。女性部との出会いは、40数年前。日章地区に嫁いできて、フレッシュミズ(当時、若妻会)に加入し活動を始めたのがきっかけでした。8年前に日章支部の支部長になり、4年前からは南国市地区本部の副部長も務めています。

本業は施設栽培でピーマンを、家庭菜園ではセロリなども栽培しています。料理が好きで、いろいろな料理を作っては支所へ持っていき、職員に振舞っています。女性部活動について「コロナ禍で活動の大半を自粛している。一早く終息し、また楽しい女性部活動を復活したい」と願いを込めて話してくれました。

大杉支所管内より

一期一会、出会いを大切に

石川 順子さん (62)



順子さんのお家は「川かぜ」と言う民宿をしています。きれいな穴内川の近くにあり、夏場になると、たくさんの県外客がラフティング目的で宿泊されるとの事。その傍ら、日曜日には穴内直販所のお手伝いに行き、地域の方々との交流をしています。そんな順子さんの楽しみは、6人のお孫さんの成長を見守る事だそうです。

今のまま、まっすぐ育て

松本 愛翔くん (4)
菜愛ちゃん (2)

大杉支所管内より



負けず嫌いで何にでも一生懸命に取り組み、妹の面倒もよく見てくれて一緒に遊んでくれる愛翔くん。すごくマイペースで気が強く、お兄ちゃんに怒られても全く気にせず話しかけたりする菜愛ちゃん。愛翔くんは、ヒーロー戦隊などが大好きで「大きくなったら仮面ライダーセイバーになりたい。」と教えてくれ、菜愛ちゃんは、大好きな絵本をたくさん見せてくれました。

お父さんとお母さんは、今のまま、まっすぐ育てて自分のやりたい事を見つけて欲しいと話してくれました。

我が家の番犬

飼い主：島崎 好子さん
ペット：お龍 (9)

大杉支所管内より



以前の飼い主だった妹さんから3年前に譲り受け、我が家にやってきた豆柴のおりょう。来た頃は前の飼い主の事を思い、3日間何も口にできなかったそうです。今では島崎家の立派な番犬となり、お家ではお孫さん達にも可愛がられよく一緒に遊んでいます。

愛情深いおりょうは好子さんのブラッシングが大好きで、他にも一日一回の散歩とご近所さんがお菓子を持って来てくれることを楽しみに島崎家の一員として日々を送っています。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



ダイコンを収穫する職員

1 南国市地域 漬物用ダイコンの収穫

今年も(株)南国スタイルのほ場でダイコンの収穫が行われました。ダイコンは、竹と木材で組み上げた干し台「はで木」にぶら下げ、ダイコンでできた「白い壁」は冬の風物詩としてご近所の皆さんの目を楽しませていきます。

同法人は、管内で盛んだった漬物用ダイコンの生産を継承しようと8年前から生産に乗り出しました。昭和45年頃をピークに生産者数は年々減少。最後の1戸が中止を検討していたなか、同法人が「地域の伝統を残したい」と奮起しました。

ほ場1ヘクタールでは、「新八州」を栽培。昨年9月末から10月初旬に種まきし、12月下旬から収穫を始めました。

ダイコンは、2本の葉を薙いで結実した後、洗い機に通して泥を落とします。2〜3週間天日干しして、寒風にさらされたダイコンは余分な水分が抜けると甘みが増します。たくあんなどの漬物用として県内の業者に出荷される予定です。

2 れいほく地域 “パプリカらみそ” 嶺北高校生が加工品を開発



考案者の生徒3人

1月16日、本山町にある直販所本山さくら市で、嶺北高校の生徒が考案した「パプリカらみそ」の商品発表会が行われました。

この商品の開発は、県立嶺北高校で令和元年11月にJA職員が講師として授業を行った際、規格外品野菜を有効利用できないか問題提起をしたことからスタートし、同校の農業コース3年生、石川瑠那さん、澤田綾芽さん、間城実結さんの3人が取り組みました。

生徒らは規格外品野菜を加工することでその美味しさを届けたいという考えから自らレシピを考案し、試作・検討を重ね、加工施設を持つ本山町農業公社の協力を経て「パプリカらみそ」が製品化されました。

材料には中型パプリカ、土佐あかうし、原木しいたけなど嶺北産の素材がふんだんに使用されており、本山さくら市等で250個限定販売され、店内に併設されているおむすび屋「こめのみみ」では、「パプリカらみそ」のおむすびが販売されました。

発表会当日は生徒が同商品とおむすびの販売まで行い、「ピリッとしていてご飯が進みます。ぜひ食べてみてください！」と笑顔で接客しました。

3 れいほく地域 原木シイタケの駒打ち体験



駒打ちを体験する園児ら

青壮年部れいほく本部本山支部は1月22日、本山町立本山保育所の園児23人を対象に原木シイタケの駒打ち体験を開き、園主の畠山日出男さんや青壮年部員が指導にあたりました。この体験は地元の食材や農業について知ってもらおうと始まり、今年で30回目を迎えます。園児は慣れない様子で金づちを持ち、約1時間かけて約200本の原木にシイタケの菌がついた種駒を打ち込みました。原木は園児が1本ずつ持ち帰り、陽の当たらない暗い場所で上手く保管すると、2年後の春には収穫できるそうです。

4 南国市地域 風の市、新たな取り組み



粗品をプレゼントする様子

風の市運営協議会は1月13日、新たな取り組みとして毎月第2水曜日を「風の市の日」と制定し、お客様に喜んでいただくイベントを開催しました。1000円以上お買い上げのお客様に対し、粗品をプレゼント。第1回目となる今回はボックスティッシュをプレゼントしました。運営協議会会長の山本さんは「コロナ禍で活動やイベントが自粛・制限されている中、このイベントを通じて地域の方々に来店していただき、お店のPRに繋がれば」と今後の活動へ期待を込めていました。

5 南国市地域 お祓いで祈願



祈禱する園芸部役員とJA職員

南国市園芸部は1月12日、南国中央・南国南部集出荷場で新年のお祓いを受けました。このお祓いは、毎年新年を迎えたこの時期に、今年の園芸品出荷の無事を祈るために行っています。今年は新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、園芸部三役とJA役員のみで執り行い、ソーシャルディスタンスを保持しながら、神事によるお祓いを受けました。1年間事故などがなく、園芸品売上が向上するように全員で祈願しました。

6 れいほく地域 “RKC調理製菓専門学校 ぜんまい料理教室”開催



一緒に料理する部員と学生

れいほくぜんまい部会は1月19日、RKC調理製菓専門学校の学生を対象にぜんまいを使った料理教室を開きました。この取り組みは、嶺北の特産物であるぜんまいの生産現場や加工について知ってもらうことを目的に開催しています。

当日は、女性部れいほく地区大豊町支部より永森幸子さん、島崎幸さん、小笠原須賀子さんの3人が「ぜんまいの油いため」「スタミナ漬け」の調理を実演。その後各グループに分かれて実際に調理を行いました。参加者からは「ぜんまいはどんな所に生えているのか」「収量を上げるためにどんな工夫をしているのか」などの質問があり、有意義な料理教室となりました。

えいのう〜

役立つ! 得する! 情報

れいほく地域より ■ れいほく営農経済センター 営農販売課 担当：小笠原 0887-82-2803

果菜類の定植、定植後の管理について

○ほ場準備
定植の1カ月前には、堆肥や苦土石灰を施用し耕うんします。10日前までに元肥を施用し、畝立て整地を行います。2〜3日前までに植え穴を掘り、十分にかん水しておきましょう。
ポイント：慣行の施用量は、堆肥200kg/アール、苦土石灰20kg/アール、れいほく八菜1号（7-5-5）30kg/アールですが、施用前には必ず土壌分析を行ない、結果をもとに適正な施肥に心掛けましょう。

○定植
苗の定植日は、なるべく風のない晴れた日を選びます。植え穴に苗を置き、土をかぶせたら軽く押さえます。
ポイント：根鉢が畦よりやや高くなるよう、浅めに植えましょう。深植えすると株元に水が溜まりやすくなり、病気の発症に繋がります。



○かん水管理
発根を促進するため、活着（わき芽が伸びてくる状態）までは、手かん水を行います。また、かん水は午前中に行い、生育状況、天候に応じてかん水量やかん水間隔を調整します。
ポイント：株元を傷めると活着不良を起こすので、活着するまでは、水圧を弱くしてかん水しましょう。


○整枝・誘引
苗を傷めないよう、本支柱立ては定植前に行います。苗が風で倒れないよう仮支柱を立て、苗と仮支柱をひもで8の字にゆるくかけて、支柱側で結びます。
定植後、樹づくりのため1番花は除去しましょう。また、第1分枝下のわき芽は、晴天日を見はからって早目に除去します。活着後は、主枝を決め、誘引ひもに絡ませて主枝が垂れ下がらないようにします。

○追肥
収穫始め頃から、草勢を見ながら追肥を開始します。液肥で1回当たり1〜2ℓ/アールを目安にしましょう。

GAP 掲示板 vol.12 番外編 れいほく地域

「高知県GAP第三者確認制度登録」

令和2年10月28日、れいほく園芸部のシトウ・カラーピーマン・米ナスの3部会は、高知県GAP第三者確認制度の現地調査を受けました。施用した肥料、毎日の収穫量の記録、農薬の保管方法等約70項目について現地で確認し、指摘があった事項については是正報告を行ったところ、同年12月24日に確認・登録されました。今後は、登録品目の拡大を目標にGAPに取り組んでいきます。



トンネルオクラの換気について



南国営農経済センター 営農指導課 竹内 啓

南国市地域より ■ 南国営農経済センター 営農指導課 088186312415

○換気のポイント
オクラの生育適温は25℃〜30℃とされています。トンネル内部の温度はそれを大きく上回る事がありますが、湿度が高いため焼ける事はありません。しかし、いつまでもその状態にしておくと軟弱徒長や着花不良の原因となりますので適宜換気を行う必要があります。換気開始のタイミングは本葉が1.5枚程度の頃を目安に行います。換気は穴を広げることで行います。天候を見ながら、3〜5日間隔を目安に換気穴を大きくしていき、徐々に外気に慣らしてください。

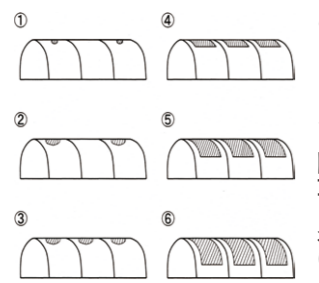
生育のムラ等で播き直した場合、生育の良いところから穴を開けるようにします。また、初めから大きな穴を開けてしまうと、急激な乾燥によって葉が脱水症状になってしまい、枯れ落ちてしまうことがありますので注意しましょう。

○トンネル換気の手順（例）

- ①一つとばしに直径8〜12cm程度の穴を開けます。
- ②換気穴を直径15〜20cm程度に大きく
- ③すべてに直径15〜20cm程度の穴を開けます。
- ④徐々に穴を大きくしていきます。トンネル内が高温になるようであれば、両サイドを開放し、風通しを良くします。
- ⑤換気穴は風が直接あたるのを避けるため、オクラの葉より下にならないようにします。
- ⑥サイドを残すと畦際に生える雑草に除草剤を散布しやすくなります。

○トンネル除去について
オクラを外気に慣らしながら、5月上旬の風のない日に行ってください。強い風により倒伏する恐れがあります。

○除草
4月中旬頃、温かい日を選んでトンネルを一部ずつめくりながら除草を行います。雑草は小さいうちの手で抜くようにしましょう。



水稲農家のみなさまへ

物部川の水は、農業の振興や電力の供給など、さまざまな形で私たちの生活を支えています。

今、物部川は、山の荒廃、水量不足、長期濁水など多くの課題を抱えており、少しでも物部川の環境が良くなるようにそれぞれが取組を進める必要があります。

水稲農家のみなさまも、水稲の順調な生育と貴重な土壌・水資源・河川環境を守るために、次の点についてご協力をお願いします。

- ▼圃場から水漏れ場所が無い作業前に畦と排水口を点検しましょう。
- ▼止水板等を設置して作業時に水が流れ出ないようにしましょう。
- ▼代かきができるだけ浅水で作業しましょう。
- ▼水管理に注意して、田植前の強制落水を少なくしましょう。
- 代かきを浅水でやることで期待される効果
- ▼田面の均平が取りやすく、生育ムラの減少や除草剤の効果発揮につながります。
- ▼不要な落水やオーバーフローが防げ、貴重な土壌の流出が少なくなります。



土壌を含んだ濁水の流出状況 止水板設置状況 浅水代かきの実施状況

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

こうぐり1月号は今月の気になる人や子供達のお米への想いを興味深く読ませて頂きました。今年こそは何とかが甘いトマトを植えたいと思っています。早く3月になってほしいですね。

(大杉支所・70歳)

▼ホントに早く暖かくなってほしいですね。今年は私も家庭菜園でトマトを作ってみたいと思います。

毎月、頑張っている若者達の紹介楽しみです。

(長岡支所・80歳)

▼若い方達の就農はJAとしても、たくさん力をもらっています。今後もJAとしてサポート体制を強化していきます。

年末より生活にゆとりが少しでき、花や野菜等ゆつくり見て、手にすることが出来るようになりました。色々なことに取り組みたいと思う新年です。

(十市支所・57歳)

▼コロナ禍ではありますが、こんな時だからこそ、できる事があると思います。色々な事にチャレンジしてみたいと思います！

「ごはん・お米とわたし」は、子供が小さい時、作品を出品したので思い出します。今の子は本当に上手ですね。4年生でもすごい作品です。文も絵も素晴らしいです。

(日章支所・71歳)

▼今年はコロナの影響で全国コンクールが中止となり残念でした。でも作文や絵画は本当にすごく上手ですね。自分が小学生だった頃を考えると・・・。

こうぐりが来るのを楽しみにしている一人です。コロナが終息したら、いろんな地域の美味しい食材を求めて出歩きたいです。

(田井出張所・58歳)

▼思い返せば昨今の今頃からはコロナばかりの1年でした。早く終息し、いろんな場所に出かけたいですね。

毎月、届けていただいております。ありがとうございます。楽しみにしています。コロナの中、農家の方の頑張りを応援したくて、直販所を多く利用しています。新鮮で美味しく食べると私も元気が出ます。

(三和支所・66歳)

▼ご利用ありがとうございます。やっぱり美味しいものを食べると元気出ますよね。こうぐりを楽しみにして頂いているという言葉は担当者として嬉しばかりで励みになります。



JA高知県れいほく柚子商品 わんぱくゆず茶

ゆず果汁と蜂蜜がたっぷり入ったゆず茶です。カップにスプーン2〜3杯入れて、お湯を注いでかき混ぜてお飲みください。牛乳、ソーダ、焼酎などで割っても美味しいです。

内容量 420g **取扱店** とさのさと、風の市、かざぐるま市

お問い合わせ先 高知県農業協同組合れいほく柚子加工場 (TEL: 0887-73-0080)



家の光協会 新刊図書のご案内



きのこ・海藻・ネバネバ・発酵食で藤井恵の免疫力を高める **かんたんごはん**

定価 (税込) 1,540円

免疫力アップにつながる注目腸活。藤井恵さんが食べ続けている、腸に効く4つの食材を使った手軽なレシピを厳選して紹介！より健康効果を高める「βカロテン・たんぱく質」を組み合わせたおかずも多数。



薬日本堂のおうち漢方365日

定価 (税込) 1,650円

日本一の漢方専門店が教える、体と心に役立つ漢方・薬膳の知恵を365日分紹介。季節の不調を改善する食べ物や、疲れを癒す入浴法、漢方ならではの美容法など、1日1ページ読むだけですぐに使える情報が満載。

ご注文はお近くの支所または南国営農経済センター 組合員課までお願いいたします。(TEL: 組合員課088-863-2416)